

平成24年度

第4回 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：平成24年7月25日（水） 15:00～17:00
場 所：第3会議室
出席者： 委員長 富永 祐民
 委 員 豊嶋 英明、岡村 幹吉、酒井 一、深田 修、寺西 正美
欠席者： 委 員 村上 健次、水谷博之、鳥羽 研二、鈴木 隆雄
出席委員数/全委員数： 6人/10人
審議事項
申請課題数：一部変更申請課題 1件
 新規申請課題 8件
 合 計 9件
その他審議事項は特になし

申請課題について

No.1	受付番号：569-2 課 題 名：認知症患者における介護負担の構成分析研究 申 請 者：清家 理 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審査結果：承認
No.2	受付番号：583 課 題 名：在宅医療支援病棟を中心とした在宅療養継続の関連・予測要因の検討 申 請 者：大島 浩子 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 <ul style="list-style-type: none">・ 神経難病を定義し（あるいは病名を列記し）、それを対象から除外する理由を示すこと。・ 全体研究期間を含めたタイムスケジュールを研究計画書の中で示すこと。

No.3	<p>受付番号：584</p> <p>課 題 名：在宅療養支援診療所を中心とした在宅療養継続・在宅看取りの関連要因の検討</p> <p>申 請 者：大島 浩子</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.4	<p>受付番号：585</p> <p>課 題 名：在宅看取りを行なった家族の在宅看取りの経験の意味</p> <p>申 請 者：大島 浩子</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.5	<p>受付番号：586</p> <p>課 題 名：局所振動刺激に対する固有感覚受容の高齢者腰痛および易転倒性に及ぼす影響に関する研究</p> <p>申 請 者：酒井 義人</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当センターで対象者を、名古屋工業大学で正常対照者を選択することを申請書にも明記すること。 <p>その場合P. 3の例数、P. 4の例数を統一すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象例数の算定根拠を示すこと。 ・ 共同研究者、研究協力者の役割を明示すること。 ・ 説明書に「訓練によって予防しうるかを検証する」とあるが、実際には今後の訓練法の開発につなげるのであるからその旨説明書に記載すること。
No.6	<p>受付番号：587</p> <p>課 題 名：褥瘡のチーム医療における薬剤師関与が治癒期間等に与える影響に関する後向き調査研究</p> <p>申 請 者：古田 勝経</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：非該当</p>

No.7	<p>受付番号：588</p> <p>課 題 名： 認知症患者の家族介護者に対する包括的教育プログラム内容および提供方法の効果測定研究</p> <p>申 請 者：清家 理</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>
No.8	<p>受付番号：589</p> <p>課 題 名：在宅医療支援病棟における栄養 在宅栄養管理そのものの課題についての客観的評価</p> <p>申 請 者：金子 康彦</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <p>○課題名を分かりやすいものに変更すること。</p> <p>○在宅栄養管理について具体的な内容を簡単に記載すること。</p> <p>○ 説明書4ページ目【研究成果の公表について】における下記の文章を修正すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人個人への結果の公表は行いません。→個人個人への結果のお知らせはいたしません。（意図することが、誰にでも伝わるように書き直すこと。） ・なお、研究計画書につきましては必要に応じ、開示いたします。→なお、研究計画書につきましてはご希望により開示いたします。

No.9	<p>受付番号：590</p> <p>課題名：在宅栄養管理のサポート体制構築に向けた研究 栄養・食事サポートにおける現状の把握と問題点の抽出</p> <p>申請者：今泉 良典</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <p>○ 倫理的に大きな問題があるわけではないが、細部で修正を要する部分がある。少なくとも説明書及びアンケートでは以下のように訂正すること。</p> <p>〔説明文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.5 下から4行目 平成25年3月31日になります→平成25年3月31日までです（「～から」に対応） ・ P.6 7行目～9行目 →削除（下で同じことを言っている。） ・ P.6 18行目 個人個人への結果の公表は行いません。→個人個人への結果のお知らせはいたしません。（元の文では何を意図しているのかわからない。誰にでもわかるように書き直すこと。） ・ P.6 19行目 なお、研究計画書につきましては必要に応じ開示いたします。→なお、研究計画書につきましてはご希望により開示いたします。 <p>〔アンケート用紙（患者様家族・介護者記入用紙）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.45 6行目 アンケートの返送をもって→アンケートのご返送をもって ・ P.45 11行目 ○印をしてください→○をつけてください（以下同じ） ・ P.45 14行目 （一部ご記入ください）→（一カ所におつけください） ・ P.45 15行目 a 経口摂取→a 経口摂取（自分の口から食べる） <p>〔全体を通し〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当に→該当するものに ・ 説明文また全体を通し、漢字、かなの統一をはかること（頂くーいただく など）
------	--